

視聴覚障害者のためのホームヘルパー養成実習事業へ支援金を寄付

神奈川県遊技場協同組合(理事長 平川正寿)と神奈川県福祉事業協会は、社会貢献事業の一環として、神奈川県視聴覚障害者福祉センター「ホームヘルパー養成研修修了者継続実習事業」に対する支援のため 230 万円を寄贈しました。

これら寄贈の財源は、パチンコ・パチスロ業界の収益の一部から充てられたものです。

この取組みが評価されたことにより、平成 19 年 9 月 4 日 (福)神奈川県視聴覚障害者総合福祉協会 (理事長 野澤克哉) から感謝状をいただきました。

1. 日 時 平成 19 年 9 月 4 日

2. 場 所 神奈川県福祉事業協会 (神奈川県遊技場協同組合会館内)

3. 状 況 野澤理事長は、手話通訳者を通じ、「県内 1 万人を超える視聴覚障害者と私たちをお世話して下さる手話のできるホームヘルパーさんの意思が通じ合い、普段の生活が営まれば、とても嬉しいことです。」と感謝のことばを述べられました。



活躍する手話のできるホームヘルパー



上原専務理事 (右) が感謝状をいただきました。